



## 事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱あおば			
保護者評価実施期間	2025年 2月 27 日 ～ 2025年 3月 15 日			
保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	24
従業者評価実施期間	2025年 2月 27 日 ～ 2025年 3月 15 日			
従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25 日			

### ○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに寄り添った支援と見守り	それぞれの子どもの特性を理解して、スタッフが見守りを行っている。 その日の子どもの気持ちや体調を確認する。	アセスメントシートを熟知して支援をする。 学校やキッズなどの担当の先生との情報交換密に行う。
2	保護者との情報交換と信頼関係	連絡帳やメール・電話で子どもの様子を把握している。定期的に保護者面談。 子どもに変化が見られた時点で保護者と解決策を共有している。	送迎時などの情報交換を密に行う。
3	職員同士のコミュニケーション	午前・午後に職員ミーティングを行い、その日に利用する子どもの状況を確認する。 定期的に全員で情報交換して子どもの状況把握を周知する。	突発的に起った事案を時間差なしで共有・周知を行う。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所面積の狭さ	利用者のニーズが増えて、曜日ごとに定員に満たしている。	事業所移転を視野に物件探しをする。
2	職員の人員不足	利用者のニーズが増えて、曜日ごとに定員に満たしている。 加配を要する子どもの見守りのため、他の子どもへの配慮が不足する。	職員求人依頼で人員を増やす。
3	他事業所との連携不足	ほとんどの子どもが他事業所と併用している。何か問題が起きた時点以外での情報共有は難しい。	区の協議会・代表者会議に積極的に参加して情報交換を行う。